

国際規格の環境と、高い専門性を持つ技師が診療現場に合わせた検査

検査部 技師長 宮本仁志

現在、検査部は再雇用の1名を含めた47名の大所帯となっています。臨床検査は血液検査、生化学検査、一般検査、免疫血清検査、輸血検査、遺伝子検査、細菌検査、生理検査、病理検査など多岐にわたっており、いずれも高い専門性を持つ臨床検査技師が行っています。スタッフ全員が現状に満足することなく、更なる認定資格取得に積極的です。その意識を押し上げているのが、臨床検査室の国際規格であるISO15189の認定取得です。全国に先駆けて2010年3月に取得しました(2018年3月に2度目の更新)。認定の取得により検査部の一体感と推進力が生まれ、何よりも患者さんに安心感を与えています。さらに、8時から検査ができるようシフト勤務の調整を図り、9時からの診察時に検査結果がわかり診断ができるように診療に貢献しています。また、多くのスタッフが愛媛県臨床検査技師会の委員や学術部班長・副班長を担当し、研修会の企画・運営の中心を担い愛媛県全体の情報共有とレベルアップに貢献しています。



PROFILE

みやもとひとし◎1982年愛媛県立臨床検査専門学校卒業、臨床検査技師資格取得。同年、愛媛大学医学部附属病院検査部。2010年診療支援部の臨床検査技術部門副部門長などを経て、2017年検査部臨床検査技師長と診療支援部長を兼任。2017年4月から現職。趣味は映画・音楽鑑賞とスポーツ観戦。座右の銘は「吾唯足知(われただたるをしる)」。